

LM・ユーロ 毎月分配型ファンド

運用報告書（全体版）

第214期	決算日	2020年6月18日
第215期	決算日	2020年7月20日
第216期	決算日	2020年8月18日
第217期	決算日	2020年9月18日
第218期	決算日	2020年10月19日
第219期	決算日	2020年11月18日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・ユーロ毎月分配型ファンド」は、2020年11月18日に第219期の決算を行いましたので、第214期、第215期、第216期、第217期、第218期、第219期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

<https://www.leggmason.co.jp>

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主としてユーロ建て債券に投資し、ユーロ短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、ユーロ短期金利水準の分配を毎月行い、ユーロ原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：
レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
190期(2018年6月18日)	6,263	20	△2.4	96.0	△61.3	5,401	
191期(2018年7月18日)	6,418	20	2.8	96.4	△54.7	5,624	
192期(2018年8月20日)	6,142	20	△4.0	97.1	△55.1	5,355	
193期(2018年9月18日)	6,320	20	3.2	96.6	△49.4	5,471	
194期(2018年10月18日)	6,250	20	△0.8	96.6	△50.8	5,279	
195期(2018年11月19日)	6,172	20	△0.9	97.7	△42.7	5,125	
196期(2018年12月18日)	6,105	20	△0.8	98.8	△47.6	4,982	
197期(2019年1月18日)	5,921	20	△2.7	95.8	△39.3	4,800	
198期(2019年2月18日)	5,930	20	0.5	96.4	△45.1	4,796	
199期(2019年3月18日)	5,983	20	1.2	97.8	△45.7	4,779	
200期(2019年4月18日)	5,975	20	0.2	95.4	△41.1	4,689	
201期(2019年5月20日)	5,784	20	△2.9	96.8	△41.8	4,488	
202期(2019年6月18日)	5,710	20	△0.9	97.2	△36.6	4,415	
203期(2019年7月18日)	5,659	20	△0.5	95.2	△33.7	4,342	
204期(2019年8月19日)	5,489	20	△2.7	97.0	△34.5	4,148	
205期(2019年9月18日)	5,551	20	1.5	96.5	△27.8	4,170	
206期(2019年10月18日)	5,599	5	1.0	97.1	△28.0	4,180	
207期(2019年11月18日)	5,563	5	△0.6	94.0	△28.3	4,103	
208期(2019年12月18日)	5,638	5	1.4	96.0	△25.9	4,032	
209期(2020年1月20日)	5,638	5	0.1	96.6	△22.2	3,937	
210期(2020年2月18日)	5,481	5	△2.7	94.7	△26.1	3,659	
211期(2020年3月18日)	5,383	5	△1.7	92.7	△25.9	3,512	
212期(2020年4月20日)	5,337	5	△0.8	91.9	△23.8	3,460	
213期(2020年5月18日)	5,275	5	△1.1	93.8	△28.3	3,376	
214期(2020年6月18日)	5,485	5	4.1	87.8	△28.4	3,483	
215期(2020年7月20日)	5,610	5	2.4	92.9	△40.0	3,494	
216期(2020年8月18日)	5,750	5	2.6	95.6	△41.8	3,553	
217期(2020年9月18日)	5,675	5	△1.2	95.9	△41.1	3,415	
218期(2020年10月19日)	5,636	5	△0.6	96.9	△42.1	3,320	
219期(2020年11月18日)	5,627	5	△0.1	95.8	△44.1	3,159	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率	率		
第214期	(期 首) 2020年5月18日	円 5,275		% —	% 93.8	% △28.3
	5月末	5,432		3.0	93.5	△28.2
	(期 末) 2020年6月18日	5,490		4.1	87.8	△28.4
第215期	(期 首) 2020年6月18日	5,485		—	87.8	△28.4
	6月末	5,531		0.8	79.6	△28.5
	(期 末) 2020年7月20日	5,615		2.4	92.9	△40.0
第216期	(期 首) 2020年7月20日	5,610		—	92.9	△40.0
	7月末	5,674		1.1	95.0	△41.6
	(期 末) 2020年8月18日	5,755		2.6	95.6	△41.8
第217期	(期 首) 2020年8月18日	5,750		—	95.6	△41.8
	8月末	5,735		△0.3	95.4	△42.8
	(期 末) 2020年9月18日	5,680		△1.2	95.9	△41.1
第218期	(期 首) 2020年9月18日	5,675		—	95.9	△41.1
	9月末	5,669		△0.1	95.8	△41.1
	(期 末) 2020年10月19日	5,641		△0.6	96.9	△42.1
第219期	(期 首) 2020年10月19日	5,636		—	96.9	△42.1
	10月末	5,570		△1.2	97.4	△42.3
	(期 末) 2020年11月18日	5,632		△0.1	95.8	△44.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

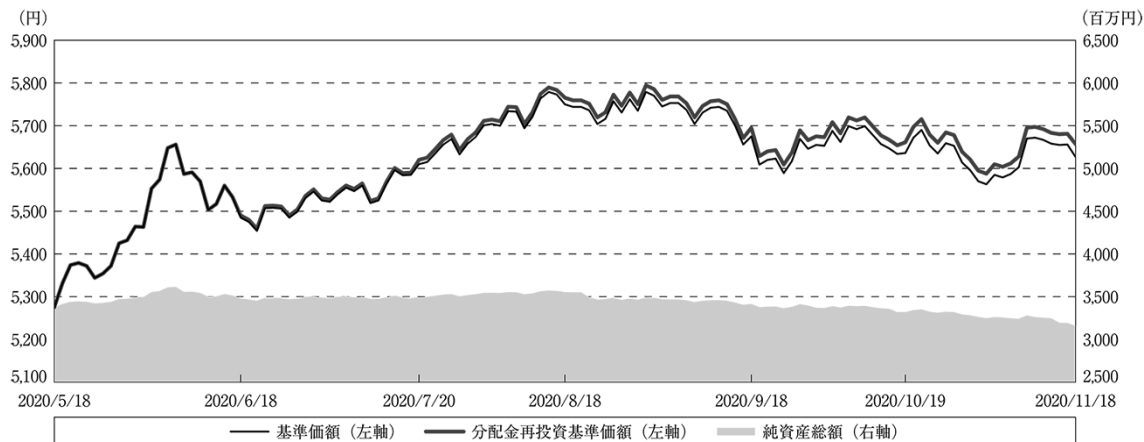
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2020年5月19日～2020年11月18日)



第214期首：5,275円

第219期末：5,627円 (既払分配金(税込み):30円)

騰落率：7.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2020年5月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラスとなりました。

公社債利金を手堅く確保したことに加え、公社債損益についてもプラスとなりました。さらに、為替損益についても、ユーロ・円相場がユーロ高・円安となったことから、プラスとなりました。

当作成期の欧州債券市場は、利回りが前作
成期末比ほぼ変わらずとなりました。

期の前半は、欧州連合（EU）が新型コロナ
ウイルスで落ち込んだ経済を支援するための
復興基金の創設計画案を公表し、欧州景気が
下支えされるとの見方が広がったことなどか
ら、利回りは一時上昇しました。しかしその
後は、米連邦準備制度理事会（FRB）が長期に
わたって緩和的な金融政策を続ける方針を示
したことなどを受けて、利回りは低下しま
した。

期の半ばは、ドイツの2020年4～6月期GDP
（速報値）が前期から大きく落ち込み、景気
の悪化が意識されたことなどから、利回りは
低下（価格は上昇）しました。しかしその後は、ドイツの景況感が改善したことなどを受けて、利回りは上昇する場面が見られました。

期の後半は、欧州各国で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、経済活動を制限する動きが再び広がったことから、欧州景気の先行き不透明感が増す中、利回りは低下しました。しかしその後は、新型コロナウイルスのワクチンが早期に普及し、経済活動が持ち直すとの期待が広がったことから、利回りは上昇（価格は下落）しました。

欧州社債市場については、株式相場が上昇したことなどから、社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小しました。

欧州資産担保証券（ABS）/モーゲージ証券（MBS）市場についても、スプレッドは縮小しました。

当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円
安となりました。

期の前半は、欧州復興基金の創設計画案の公
表などを受けて欧州景気が下支えされるとの
見方が広がったことなどから、ユーロ買い・円
売りが優勢となりました。

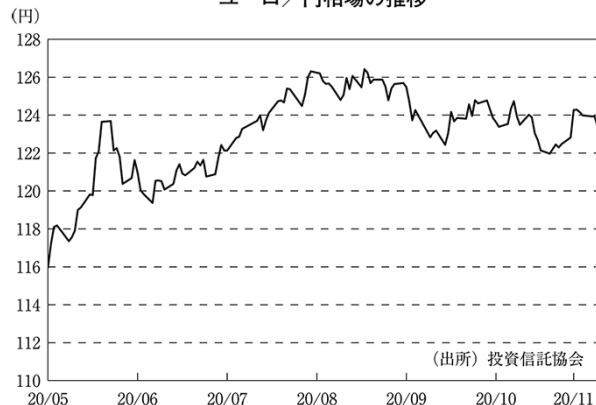
期の半ばは、EUが復興基金の創設で合意した
ことを受けて、欧州の景気回復が相対的に強ま
るとの見方が広がる中、ユーロは対円で上昇し
ました。

期の後半は、欧州での新型コロナウイルスの
感染再拡大を受けて、欧州景気の先行き不透明
感が強まったことなどから、ユーロ売り・円買
いが優勢となりました。しかしその後、新型コ
ロナウイルスのワクチン実用化への期待が高まると、ユーロは対円で反発しました。

ドイツ10年国債利回りの推移



ユーロ／円相場の推移



当ファンドは、主に「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

分配金

(2020年5月19日～2020年11月18日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第214期	第215期	第216期	第217期	第218期	第219期
	2020年5月19日～ 2020年6月18日	2020年6月19日～ 2020年7月20日	2020年7月21日～ 2020年8月18日	2020年8月19日～ 2020年9月18日	2020年9月19日～ 2020年10月19日	2020年10月20日～ 2020年11月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.091%	5 0.089%	5 0.087%	5 0.088%	5 0.089%	5 0.089%
当期の収益	4	3	3	1	1	1
当期の収益以外	0	1	1	3	3	3
翌期繰越分配対象額	734	733	732	728	724	721

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年5月19日～2020年11月18日)

項 目	第214期～第219期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	12	0.222	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(6)	(0.100)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(6)	(0.100)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.002)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.030	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(1)	(0.016)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	14	0.254	
作成期間の平均基準価額は、5,601円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

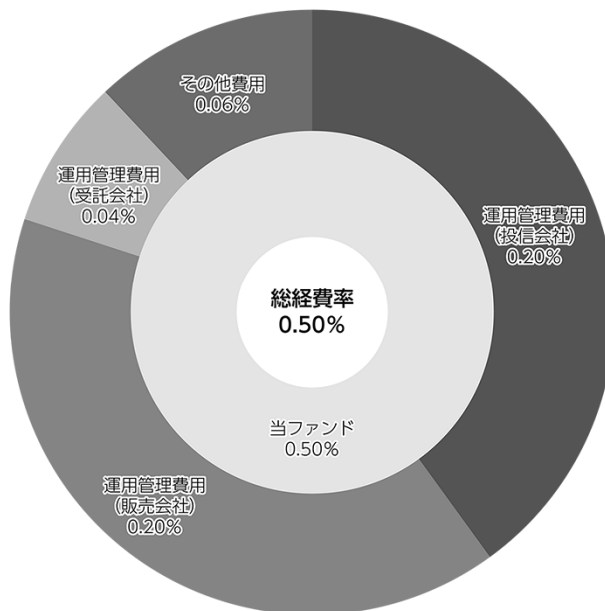
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.50%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年5月19日～2020年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第214期～第219期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		9,768	13,115	358,143	485,003

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年5月19日～2020年11月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2020年5月19日～2020年11月18日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年5月19日～2020年11月18日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年11月18日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第213期末	第219期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		2,682,533	2,334,159	3,163,252

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年11月18日現在)

項 目	第219期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	3,163,252	99.4
コール・ローン等、その他	19,824	0.6
投資信託財産総額	3,183,076	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(3,260,366千円)の投資信託財産総額(3,295,000千円)に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、11月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=123.43円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第214期末	第215期末	第216期末	第217期末	第218期末	第219期末
	2020年6月18日現在	2020年7月20日現在	2020年8月18日現在	2020年9月18日現在	2020年10月19日現在	2020年11月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,488,402,395	3,512,280,253	3,559,331,148	3,421,616,286	3,356,794,633	3,183,076,795
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド(評価額)	3,488,402,389	3,499,520,417	3,558,190,449	3,420,117,858	3,324,878,258	3,163,252,451
未収入金	6	12,759,836	1,140,699	1,498,428	31,916,375	19,824,344
(B) 負債	4,617,857	17,357,532	5,593,445	5,938,727	36,269,858	23,951,081
未払収益分配金	3,175,503	3,114,836	3,090,288	3,009,214	2,945,622	2,806,898
未払解約金	6	12,759,836	1,140,699	1,498,428	31,916,375	19,824,344
未払信託報酬	1,307,319	1,343,864	1,235,922	1,298,604	1,263,351	1,183,948
その他未払費用	135,029	138,996	126,536	132,481	144,510	135,891
(C) 純資産総額(A-B)	3,483,784,538	3,494,922,721	3,553,737,703	3,415,677,559	3,320,524,775	3,159,125,714
元本	6,351,006,032	6,229,673,986	6,180,576,797	6,018,428,475	5,891,245,520	5,613,797,647
次期繰越損益金	△2,867,221,494	△2,734,751,265	△2,626,839,094	△2,602,750,916	△2,570,720,745	△2,454,671,933
(D) 受益権総口数	6,351,006,032口	6,229,673,986口	6,180,576,797口	6,018,428,475口	5,891,245,520口	5,613,797,647口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,485円	5,610円	5,750円	5,675円	5,636円	5,627円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 6,401,535,066円

当作成期中追加設定元本額 23,417,937円

当作成期中一部解約元本額 811,155,356円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,454,671,933円であります。

○損益の状況

項 目	第214期	第215期	第216期	第217期	第218期	第219期
	2020年5月19日～ 2020年6月18日	2020年6月19日～ 2020年7月20日	2020年7月21日～ 2020年8月18日	2020年8月19日～ 2020年9月18日	2020年9月19日～ 2020年10月19日	2020年10月20日～ 2020年11月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	138,208,057	82,285,586	90,785,468	△ 40,376,922	△ 18,615,786	△ 893,257
売買益	140,112,775	84,115,334	91,505,754	180,536	297,603	2,180,500
売買損	△ 1,904,718	△ 1,829,748	△ 720,286	△ 40,557,458	△ 18,913,389	△ 3,073,757
(B) 信託報酬等	△ 1,442,348	△ 1,482,860	△ 1,362,458	△ 1,431,085	△ 1,407,861	△ 1,319,839
(C) 当期損益金(A+B)	136,765,709	80,802,726	89,423,010	△ 41,808,007	△ 20,023,647	△ 2,213,096
(D) 前期繰越損益金	△ 850,796,631	△ 702,992,242	△ 619,240,970	△ 517,460,484	△ 547,995,209	△ 541,828,295
(E) 追加信託差損益金	△ 2,150,015,069	△ 2,109,446,913	△ 2,093,930,846	△ 2,040,473,211	△ 1,999,756,267	△ 1,907,823,644
(配当等相当額)	(466,671,193)	(457,741,416)	(453,499,340)	(440,590,110)	(429,190,016)	(406,947,890)
(売買損益相当額)	(△2,616,686,262)	(△2,567,188,329)	(△2,547,430,186)	(△2,481,063,321)	(△2,428,946,283)	(△2,314,771,534)
(F) 計(C+D+E)	△ 2,864,045,991	△ 2,731,636,429	△ 2,623,748,806	△ 2,599,741,702	△ 2,567,775,123	△ 2,451,865,035
(G) 収益分配金	△ 3,175,503	△ 3,114,836	△ 3,090,288	△ 3,009,214	△ 2,945,622	△ 2,806,898
次期繰越損益金(F+G)	△ 2,867,221,494	△ 2,734,751,265	△ 2,626,839,094	△ 2,602,750,916	△ 2,570,720,745	△ 2,454,671,933
追加信託差損益金	△ 2,150,030,270	△ 2,110,087,397	△ 2,094,970,407	△ 2,042,609,121	△ 2,001,886,344	△ 1,909,894,845
(配当等相当額)	(466,656,524)	(457,101,827)	(452,460,606)	(438,455,223)	(427,060,453)	(404,877,010)
(売買損益相当額)	(△2,616,686,794)	(△2,567,189,224)	(△2,547,431,013)	(△2,481,064,344)	(△2,428,946,797)	(△2,314,771,855)
繰越損益金	△ 717,191,224	△ 624,663,868	△ 531,868,687	△ 560,141,795	△ 568,834,401	△ 544,777,088

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第214期	第215期	第216期	第217期	第218期	第219期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	3,160,302	2,474,352	2,050,727	873,304	815,545	735,697
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	466,671,725	457,742,311	453,500,167	440,591,133	429,190,530	406,948,211
(D) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	469,832,027	460,216,663	455,550,894	441,464,437	430,006,075	407,683,908
(1万口当たり収益分配対象額)	(739)	(738)	(737)	(733)	(729)	(726)
収益分配金	3,175,503	3,114,836	3,090,288	3,009,214	2,945,622	2,806,898
(1万口当たり収益分配金)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)

○分配金のお知らせ

	第214期	第215期	第216期	第217期	第218期	第219期
1 万口当たり分配金 (税込み)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2020年11月18日現在）

<LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド>

下記は、LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド全体(2,416,175千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第219期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ユーロ								
ドイツ	1,500	1,515	187,041	5.7	—	—	—	5.7
イタリア	750	757	93,528	2.9	—	—	—	2.9
フランス	710	732	90,386	2.8	—	—	—	2.8
オランダ	2,860	2,875	354,927	10.8	—	—	2.3	8.5
ベルギー	1,000	1,007	124,318	3.8	—	—	3.8	—
ルクセンブルク	400	405	50,027	1.5	—	—	1.5	—
フィンランド	740	744	91,859	2.8	—	—	—	2.8
その他	17,090	17,335	2,139,714	65.3	—	—	5.4	59.9
合 計	25,050	25,373	3,131,805	95.6	—	—	13.0	82.6

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第219期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	普通社債券 (含む投資法人債)	SAP SE	0.25	900	906	111,860	2022/3/10
		VOLKSWAGEN BANK GMBH FRN	0.955	600	609	75,181	2022/8/1
イタリア	普通社債券 (含む投資法人債)	INTESA SANPAOLO SPA	2.0	450	456	56,291	2021/6/18
		UNICREDIT SPA	3.25	300	301	37,237	2021/1/14
フランス	普通社債券 (含む投資法人債)	ENGIE SA	3.5	300	321	39,716	2022/10/18
		RCI BANQUE SA FRN	0.144	410	410	50,670	2021/4/12
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債)	ABN AMRO BANK NV FRN	—	1,200	1,201	148,244	2021/1/15
		ALLIANZ FINANCE II B.V.	0.25	600	608	75,107	2023/6/6
		BAYER CAPITAL CORP B FRN	0.057	300	300	37,113	2022/6/26
		SHELL INTL FIN	1.625	760	765	94,462	2021/3/24
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債)	KBC GROUP NV FRN	0.059	1,000	1,007	124,318	2022/11/24
ルクセンブルク	普通社債券 (含む投資法人債)	MEDTRONIC GLOBAL HLDINGS	0.375	400	405	50,027	2023/3/7
フィンランド	普通社債券 (含む投資法人債)	NORDEA BANK ABP FRN	—	740	744	91,859	2022/2/7
その他	普通社債券 (含む投資法人債)	AMERICAN EXPRESS	0.625	900	907	112,002	2021/11/22
		BANK OF AMERICA CORP	1.375	1,000	1,014	125,276	2021/9/10
		BANK OF NOVA SCOTIA FRN	0.102	620	625	77,217	2022/10/5
		BP CAPITAL MARKETS PLC	2.177	800	817	100,905	2021/9/28
		COMMONWEALTH BANK AUST	0.5	730	740	91,377	2022/7/11
		DANSKE BANK A/S	0.5	600	602	74,374	2021/5/6
		DNB BANK ASA FRN	0.239	700	707	87,359	2022/7/25
		GOLDMAN SACHS GROUP FRN	0.488	900	905	111,791	2021/7/27
		HONEYWELL INTERNATIONAL	1.3	300	310	38,291	2023/2/22
		JPMORGAN CHASE & CO	1.5	600	620	76,591	2022/10/26
		LEEDS BUILDING SOCIETY	1.375	560	572	70,699	2022/5/5
		LLOYDS BANK PLC	1.375	1,000	1,031	127,313	2022/9/8
		MORGAN STANLEY	2.375	1,000	1,010	124,685	2021/3/31
		MUFG BANK LTD	0.875	510	517	63,913	2022/3/11
		NATIONAL AUSTRALIA B FRN	0.063	770	771	95,268	2021/4/19
		NATWEST MARKETS PLC	0.625	600	604	74,662	2022/3/2
		NYKREDIT FRN	0.093	660	663	81,839	2022/6/2
		SANTANDER UK PLC	1.125	510	518	64,004	2022/1/14
		SKANDINAVISKA ENSKILDA	0.75	470	479	59,183	2022/6/16
		SKY LTD	1.5	760	771	95,241	2021/9/15
		SPAREBANKEN VEST	0.5	540	545	67,373	2022/11/29
		SVENSKA HANDELSBANKEN AB	1.125	560	577	71,269	2022/12/14
		UBS AG LONDON	1.25	1,000	1,013	125,118	2021/9/3
		WELLS FARGO & CO FRN	—	1,000	1,004	123,954	2022/1/31
合	計					3,131,805	

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別			第219期末	
			買 建 額	売 建 額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2020.12限月	百万円 -	百万円 1,441

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 単位未満は切捨て。

LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド

運用状況のご報告

第18期 決算日 2020年2月18日

(計算期間：2019年2月19日～2020年2月18日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」の第18期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指します。 2. 原則として、投資を行う公社債はBBB-/Baa3格以上の格付けを有するものとし、又、コマーシャル・ペーパー、譲渡性預金等については、A2/P2格以上の格付けを有するものとし、ます。
主 要 運 用 対 象	国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等
組 入 制 限	外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
14期(2016年2月18日)	13,852	△ 6.5		94.3	△ 4.4	2,906
15期(2017年2月20日)	13,133	△ 5.2		97.1	△ 3.7	2,170
16期(2018年2月19日)	14,491	10.3		95.6	△63.9	5,782
17期(2019年2月18日)	13,647	△ 5.8		96.0	△44.9	4,947
18期(2020年2月18日)	13,044	△ 4.4		94.6	△26.1	3,783

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物比率
		騰落	率		
(期首)	円		%	%	%
2019年2月18日	13,647	—		96.0	△44.9
2月末	13,785	1.0		96.8	△45.3
3月末	13,627	△0.1		97.5	△46.1
4月末	13,626	△0.2		96.0	△41.3
5月末	13,325	△2.4		96.7	△39.4
6月末	13,413	△1.7		97.4	△36.7
7月末	13,282	△2.7		95.9	△34.0
8月末	12,888	△5.6		96.9	△31.6
9月末	12,933	△5.2		96.4	△27.8
10月末	13,316	△2.4		97.5	△28.1
11月末	13,218	△3.1		96.6	△28.6
12月末	13,432	△1.6		94.9	△26.0
2020年1月末	13,188	△3.4		96.7	△22.6
(期末)					
2020年2月18日	13,044	△4.4		94.6	△26.1

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年2月19日～2020年2月18日)



○基準価額の変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。公社債利金を手堅く確保しましたが、ユーロ・円相場がユーロ安・円高となったことから、為替損益がマイナスとなりました。

当期の欧州債券市場は、利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、欧州経済の先行きに対する不透明感が広がったことから、利回りは低下しました。イタリアの財政問題を巡る不透明感が意識され、欧州域内で相対的に安全資産とされるドイツ国債が選好されたことも、利回りの低下を促す要因となりました。

期の半ばは、欧州中央銀行（ECB）による追加緩和期待が根強い中、利回りは低下しました。しかしその後は、ECBが追加緩和策を決定したものの、更なる緩和の余地が乏しいとの見方が広がったことなどから、利回りはやや上昇（価格は下落）しました。

期の後半は、米中が貿易協議の「第1段階」で合意し、貿易摩擦を巡る懸念が後退したことや、英総選挙で与党・保守党が過半数の議席を獲得し、英国による欧州連合（EU）離脱を巡る不透明感が後退したことなどから、利回りは上昇しました。しかしその後は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済への影響が懸念されたことから、利回りは低下しました。

社債セクターについては、ドイツの株式相場が堅調となったことなどを背景に、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は縮小しました。資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場についても、MBSセクターを中心にスプレッドが縮小しました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。

期の前半は、ユーロ買い・円売りが優勢となる場面も見られましたが、欧州経済の先行きに対する不透明感が広がったことや、イタリアの財政問題を巡る不透明感が意識されたことなどから、ユーロは対円で下落しました。

期の半ばは、米中貿易摩擦の激化懸念を背景にリスク回避姿勢が強まったことから、ユーロは対円で下落しました。さらに、ECBが大規模な金融緩和に踏み切るとの思惑が広



がる中、ユーロ売り・円買いが強まりました。しかしその後、ECBが追加緩和策を決定したものの、更なる緩和の余地が乏しいとの見方が広がると、ユーロは買い戻されました。

期の後半は、米中貿易協議の合意を受けて、リスク回避姿勢が和らいだことなどから、ユーロは対円で底堅く推移しました。しかしその後は、新型肺炎の感染拡大による世界経済への影響が懸念され、リスク回避姿勢が改めて意識されたことなどから、ユーロは上値の重い展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として、ユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年2月19日～2020年2月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.004 (0.004)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	2 (2) (0)	0.014 (0.012) (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	2	0.018	
期中の平均基準価額は、13,336円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年2月19日～2020年2月18日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
外 国	ユーロ			
	ドイツ	社債券(投資法人債券を含む)	908	—
	イタリア	社債券(投資法人債券を含む)	717	248
	フランス	社債券(投資法人債券を含む)	—	264
				(1,397)
	オランダ	社債券(投資法人債券を含む)	782	300
				(3,400)
	ベルギー	社債券(投資法人債券を含む)	201	—
ルクセンブルク	社債券(投資法人債券を含む)	180	—	
フィンランド	社債券(投資法人債券を含む)	—	147	
その他	社債券(投資法人債券を含む)	1,335	3,579	
			(2,400)	

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 6,697	百万円 7,855

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年2月19日～2020年2月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年2月18日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	1,500	1,522	181,097	4.8	—	—	4.8	—
イタリア	850	874	104,048	2.8	—	—	—	2.8
フランス	410	411	48,949	1.3	—	—	—	1.3
オランダ	2,460	2,482	295,234	7.8	—	—	1.6	6.2
ベルギー	1,800	1,836	218,472	5.8	—	—	3.2	2.6
ルクセンブルク	570	570	67,865	1.8	—	—	—	1.8
フィンランド	1,240	1,259	149,787	4.0	—	—	—	4.0
その他	20,890	21,132	2,513,745	66.4	—	—	2.1	64.4
合 計	29,720	30,089	3,579,201	94.6	—	—	11.6	83.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
ドイツ	普通社債券 (含む投資法人債券)	SAP SE	0.25	900	908	108,027	2022/3/10
		VOLKSWAGEN BANK GMBH FRN	1.072	600	614	73,070	2022/8/1
イタリア	普通社債券 (含む投資法人債券)	INTESA SANPAOLO SPA	2.0	550	565	67,245	2021/6/18
		UNICREDIT SPA	3.25	300	309	36,802	2021/1/14
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	RCI BANQUE SA FRN	0.257	410	411	48,949	2021/4/12
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	ABN AMRO BANK NV FRN	0.011	1,200	1,203	143,182	2021/1/15
		BAYER CAPITAL CORP B FRN	0.151	500	502	59,771	2022/6/26
		SHELL INTL FIN	1.625	760	775	92,280	2021/3/24
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券)	ANHEUSER-BUSCH	1.95	800	828	98,584	2021/9/30
		KBC GROUP NV FRN	0.142	1,000	1,007	119,887	2022/11/24
ルクセンブルク	普通社債券 (含む投資法人債券)	ALLERGAN FUNDING SCS FRN	—	570	570	67,865	2020/11/15
フィンランド	普通社債券 (含む投資法人債券)	NORDEA BANK ABP	4.0	1,240	1,259	149,787	2020/6/29
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	AMERICAN EXPRESS	0.625	900	912	108,593	2021/11/22
		ASB FINANCE LTD	0.5	1,300	1,303	155,040	2020/6/17
		BANK OF AMERICA CORP	1.375	1,400	1,435	170,694	2021/9/10
		BERKSHIRE HATHAWAY	0.5	1,220	1,220	145,191	2020/3/13
		BP CAPITAL MARKETS PLC	2.177	800	831	98,849	2021/9/28
		DANSKE BANK A/S	0.75	1,400	1,402	166,856	2020/5/4
		DNB NOR BANK	3.875	1,300	1,319	156,973	2020/6/29
		EXPORT-IMPORT BK KOREA	2.0	800	803	95,580	2020/4/30
		GOLDMAN SACHS GROUP FRN	0.614	900	910	108,330	2021/7/27
		LLOYDS TSB BANK	6.5	1,400	1,408	167,539	2020/3/24
		MORGAN STANLEY	2.375	1,000	1,028	122,362	2021/3/31
		NATIONAL AUSTRALIA B FRN	0.179	770	774	92,134	2021/4/19
		NATIONAL AUSTRALIA BANK	2.0	700	711	84,668	2020/11/12
		NATWEST MARKETS PLC FRN	0.035	500	500	59,525	2020/6/8
		NYKREDIT FRN	0.173	660	662	78,829	2022/6/2
		NYKREDIT REALKREDIT AS	0.375	870	871	103,643	2020/6/16
		ROLLS-ROYCE PLC	2.125	440	451	53,762	2021/6/18
		SKANDINAVISKA ENSKIL FRN	0.197	1,000	1,001	119,128	2020/5/26
		SKY LTD	1.5	760	780	92,796	2021/9/15
	SPAREBANK 1 SMN FRN	0.101	770	771	91,814	2020/11/9	
	UBS AG LONDON	1.25	1,000	1,023	121,765	2021/9/3	
	WELLS FARGO & CO FRN	0.101	1,000	1,006	119,663	2022/1/31	
合	計					3,579,201	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当期	
		買建額	売建額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2020.3限月	
		百万円	百万円
		—	986

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年2月18日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	3,579,201	88.4
コール・ローン等、その他	469,694	11.6
投資信託財産総額	4,048,895	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,807,185千円)の投資信託財産総額(4,048,895千円)に対する比率は94.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=118.95円です。

○特定資産の価格等の調査

(2019年2月19日～2020年2月18日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年2月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,115,507,934
コール・ローン等	395,755,127
公社債(評価額)	3,579,201,063
未収入金	91,066,385
未収利息	30,473,885
前払費用	1,357,819
差入委託証拠金	17,653,655
(B) 負債	332,345,117
未払金	283,699,675
未払解約金	48,645,385
未払利息	57
(C) 純資産総額(A-B)	3,783,162,817
元本	2,900,313,289
次期繰越損益金	882,849,528
(D) 受益権総口数	2,900,313,289口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,044円

<注記事項>

- (注) 元本の状況
- | | |
|-----------|----------------|
| 期首元本額 | 3,625,294,273円 |
| 期中追加設定元本額 | 52,056,313円 |
| 期中一部解約元本額 | 777,037,297円 |
- (注) 期末における元本の内訳
- | | |
|-----------------------------|----------------|
| LM・ユーロ毎月分配型ファンド | 2,809,034,343円 |
| LM・ユーロ短期債ファンドVA (適格機関投資家専用) | 91,278,946円 |

○損益の状況 (2019年2月19日～2020年2月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	56,914,698
受取利息	56,947,095
支払利息	△ 32,397
(B) 有価証券売買損益	△ 249,102,435
売買益	10,106,237
売買損	△ 259,208,672
(C) 先物取引等取引損益	△ 4,453,250
取引益	8,031,290
取引損	△ 12,484,540
(D) 保管費用等	△ 605,333
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 197,246,320
(F) 前期繰越損益金	1,322,316,593
(G) 追加信託差損益金	17,800,397
(H) 解約差損益金	△ 260,021,142
(I) 計(E+F+G+H)	882,849,528
次期繰越損益金(I)	882,849,528

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。